

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月24日

上場会社名 東京製鐵株式会社
 コード番号 5423 URL <http://www.tokyosteel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 利一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 阪部 英二
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年11月28日

TEL 03-3501-2238

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	170,868	—	17,386	—	19,014	—	11,233	—
20年3月期第2四半期	118,253	12.7	11,464	△47.2	12,333	△45.0	7,542	△44.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	75.40	—
20年3月期第2四半期	48.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	329,479	236,936	236,936	229,037	71.9	1,590.39
20年3月期	308,637	229,037	229,037	229,037	74.2	1,537.35

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 236,936百万円 20年3月期 229,037百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,000	21.7	47,500	212.0	50,000	190.4	29,000	186.1	194.66

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 155,064,249株 20年3月期 155,064,249株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,083,952株 20年3月期 6,082,605株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 148,981,031株 20年3月期第2四半期 155,043,857株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年9月16日に公表しました業績予想は、本資料において見直しております。

2. 上記予想の内容は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は主原料である鉄スクラップ価格、鋼材の市況等により大きく変動する可能性があります。なお、上記1に係る業績予想の見直しの内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期の業績につきましては、製品出荷価格がこれまでの原料価格の高騰を吸収できるレベルまで漸く上昇した段階で、今度は、原料鉄スクラップ価格が7月末以降揺れ戻しを含みながらも急速に下落したため、前年同期に比べて、営業利益が51.7%増、経常利益が54.2%増、四半期純利益が48.9%増、とそれぞれ増加いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計残高は、主として有形固定資産の増加等により、前事業年度末比で20,842百万円増加し、329,479百万円となっております。負債合計残高は、前事業年度末比で12,943百万円増加し、92,543百万円となっております。純資産合計残高は、利益剰余金が増加した結果、前事業年度末比で7,899百万円増加し、236,936百万円となっております。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、金融危機が実体経済に波及して、世界レベルでの景気の後退懸念が鮮明となるなか、原材料価格の下落とあわせ鉄鋼製品価格も海外で急速に値下がりしています。当社も、世界的な環境変化を受けて、10月20日に国内製品販売価格の大幅な値下げに踏み切りました。しかしながら、10月～12月期においては、製品出荷価格の下落は限定的で、原料価格との値幅が拡大するため、通期の営業利益を475億円と予想いたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
- ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、従来、主として後入先出法による低価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として後入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,041	5,751
受取手形及び売掛金	70,095	43,561
有価証券	84,000	110,500
製品	7,112	3,441
半製品	2,375	1,963
原材料	4,199	1,799
その他	5,707	4,634
貸倒引当金	△70	△43
流動資産合計	179,463	171,608
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	35,623	36,341
土地	33,325	33,325
建設仮勘定	39,653	24,416
その他（純額）	20,499	18,741
有形固定資産合計	129,101	112,824
無形固定資産	2,843	3,003
投資その他の資産	18,072	21,201
固定資産合計	150,016	137,028
資産合計	329,479	308,637

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,898	45,356
未払費用	10,071	9,318
未払法人税等	7,623	1,276
賞与引当金	661	681
その他	8,626	11,873
流動負債合計	81,881	68,507
固定負債		
退職給付引当金	4,941	5,229
役員退職慰労引当金	238	216
その他	5,482	5,647
固定負債合計	10,661	11,092
負債合計	92,543	79,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,894	30,894
資本剰余金	28,844	28,844
利益剰余金	179,757	170,013
自己株式	△6,459	△6,457
株主資本合計	233,037	223,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,898	5,741
評価・換算差額等合計	3,898	5,741
純資産合計	236,936	229,037
負債純資産合計	329,479	308,637

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	170,868
売上原価	144,617
売上総利益	26,251
販売費及び一般管理費	8,864
営業利益	17,386
営業外収益	
受取利息	424
受取配当金	686
為替差益	583
その他	298
営業外収益合計	1,992
営業外費用	
支払利息	41
売上割引	275
その他	47
営業外費用合計	364
経常利益	19,014
特別利益	
償却債権取立益	21
特別利益合計	21
特別損失	
固定資産除却損	663
特別損失合計	663
税引前四半期純利益	18,371
法人税、住民税及び事業税	7,583
法人税等調整額	△445
法人税等合計	7,138
四半期純利益	11,233

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

「参考資料」

(要約) 前中間損益計算書

	前中間会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
区分	金額 (百万円)
I 売上高	118,253
II 売上原価	98,393
売上総利益	19,859
III 販売費及び一般管理費	8,395
営業利益	11,464
IV 営業外収益	1,222
V 営業外費用	353
経常利益	12,333
VI 特別利益	44
VII 特別損失	454
税引前中間純利益	11,923
法人税、住民税及び事業税	4,331
法人税等調整額	50
中間純利益	7,542

6. その他の情報

(比較生産高)

期 別 品 目	前第2四半期累計期間 平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで
	千トン	千トン
鋼 片	1,697	1,799
鋼 材	1,596	1,668

(比較販売高)

期 別 品 種	前第2四半期累計期間 平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで			当第2四半期累計期間 平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで		
	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
	千トン	千円	百万円	千トン	千円	百万円
鋼材	1,588	74.2	117,899	1,581	107.9	170,647
(うち輸出)	(297)	(76.1)	(22,660)	(226)	(117.5)	(26,641)
その他	25	13.9	353	23	9.6	220
(うち輸出)	(1)	(66.4)	(106)	(—)	(—)	(—)
合計	1,613	73.3	118,253	1,604	106.5	170,868
(うち輸出)	(299)	(76.0)	(22,767)	(226)	(117.5)	(26,641)

(設備投資額等)

期 別 項 目	前第2四半期累計期間 平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで
減 価 償 却 費	51億円	47億円
有形固定資産の 設 備 投 資 額	97億円	214億円